学校名 嵐山町立菅谷中学校

所在地 比企郡嵐山町菅谷649

電 話 0493-62-2055

1 本校の概要

小学校が隣接しており、ほぼすべての児童がそのまま 中学校に入学する。そのため、すでに人間関係等が出来上 がっている状態でもある。そんな中、「自ら考え判断し、 正しい行動のできる生徒」を学校教育目標に掲げ、生徒の 主体性をさらに伸ばすための取組を行っている。また、昨 年度蔵書管理をデジタル化した。

2 本校の実践

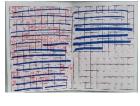
- (1) 実践の視点
 - ・読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
 - 学校図書館等の環境整備の工夫

(2) 実践の概要

読書習慣を確立するために、まずは学校図書館に足を 運んでもらう手立てを取り、学校内外とのつながりを生 むことで活動の活性化を図った。

ア ポイントカードの作成

本を借りるごとにポイントが付くカードを作成した。 このポイントをためることでしおりや図書委員会オリ ジナルグッズと交換することができるようにした。





イ 図書委員会以外との連携

学校図書館だけで活動するには限界がある。そこで、さまざまな委員会と連携し、活動の活性化を図った。放送委員会とは昼放送でコラボし、上記のポイントを集めることで曲をリクエストできるようにした。福祉委員会ではボランティアカードを活用しており、参加がポイントに換算できるようにした。学級委員会からは文房具の提供があり、これもポイントをためることで

交換可能とした。



ウ キャンペーンや掲示物の活性化

毎月さまざまなキャンペーンを実施するとともに、 学校図書館内外の掲示物を充実させた。







エ 小学校とのコラボ

図書整理員と協力し、作成したしおりを小学校に配布することで、読書に親しむ態度の育成につなげた。

オ 「読書王」の表彰

学期と年間で本を借りた数を個別に集計し、学年ご とに「読書王」として表彰した。

カ メモリアル冊数達成イベント

学校累計貸出冊数 1,000 冊、2,000 冊、3,000 冊を達成したときには図書委員会で大々的に祝った。



キ 図書委員以外の協力

しおりやアイロンビーズの作成などには、細かな作業が得意な生徒や特別支援学級にも協力してもらった。





3 成果と今後の課題

(1) 成果

生徒数203人ながら12月末の段階で学校累計貸出冊数3,000冊を突破することができた。積極的に学校図書館に足を運ぶ生徒が増えた。

(2) 課題

生徒が主体となって継続的に行える活動を確立して いくことが求められる。

(3) おわりに

現状に満足せず、今後も生徒が生き生きとした表情 で来室できる環境を整えていく。